



Radio Days

BLOWUP

Sciuscià

TERESA LA LADRA

OSSESSIONE

CITTA APERTA

Regia di  
ROBERTO  
ROSSELLINI

Director of Photography  
Carlo Di Palma, A.I.C.

Hannah and Her Sisters

# 水と砂糖の ように

「光、光、光！」

“最もエレガントな撮影監督”カルロ・ディ・パルマの、豊かな光を追い求めた映画と人生への旅。



イタリア映画批評家協会賞  
最優秀ドキュメンタリー賞

ACEK presents  
**ACQUA E ZUCCHERO**  
CARLO DI PALMA. I COLORI DELLA VITA  
a film by FARIBORZ KAMKARI  
an ACEK srl production  
in association with  
FARAM  
CINEFINANCE  
E.MAGINE  
in collaboration with  
RAI CINEMA  
REGIONE LAZIO  
ISTITUTO LUCE CINECITTA  
CENTRO SPERIMENTALE DI CINEMATOGRAFIA  
MINISTERO DEGLI AFFARI ESTERI

ヴィスコンティ、ロッセリーニ、デシーカ、  
ジェルミ、スコラ、ベルトリッチ、  
そして、ミケランジェロ・アントニオーニとウッディ・アレン…  
映画黄金時代の名匠たちの隣に彼がいた。

彼はどこまでもエレガントだった。  
そして、フィルム上で彼にできないことは何もなかった。

—— ウッディ・アレン (映画監督)



1920年代ローマ。

トラムに揺られる花かごの中から  
色彩に満ちた彼の旅は始まった…

カルロ・ディ・パルマ

(1925.4.7-2004.7.9)

ヴィスコンティ『揺れる大地』、ロッセリーニ『戦火のかなた』、  
デ・シーカ『自転車泥棒』、アントニオーニ『欲望』、  
ウッディ・アレン『ハンナとその姉妹』  
…そこに彼がいた!

# CARLO DI PALMA

映画史上の功績を讃え「カルロ・ディ・パルマ賞」と命名されたヨーロッパ映画賞撮影賞。本作はこの類まれな撮影監督についての、知的な、深みのある、なによりも愛にあふれたドキュメンタリー。映画というものが共同作業による魔術であると同時に、個人の強烈な個性の産物であることを思い出させてくれる。

光と色の達人であるディ・パルマのキャリアは、ルキノ・ヴィスコンティの最初の映画『郵便配達は二度ベルを鳴らす』に参加した15歳から始まり、第二次世界大戦後の映画を革新したネオリアリズムとともに開花。「光、光、光!」それが彼の決まり文句となる。モノクロからカラーに移行する中で、ミケランジェロ・アントニオーニと一緒に、色彩の革命ともいえる『欲望』『赤い砂漠』を生み出し、長きにわたるウッディ・アレンの撮影監督として、『ハンナとその姉妹』などアレンが描くニューヨークの物語に、洗練されたヨーロッパ的なものをもたらした。

そして彼は、長いニューヨーク暮らしにもかかわらずどこまでもローマっ子、イタリア語でいうところの、職人と芸術家を包摂する言葉アルティジャーノのものだった。アレンをはじめ、ヴィム・ヴェンダース、ベルナルド・ベルトリッチ、ケン・ローチ、ニキータ・ミハルコフ、フォルカー・シュレンドルフ、ミラ・ネルなど、多くの優れた映画監督や関係者の豊かで温かい証言が彼の突出した才能とともに魅力あふれる人間性をあぶり出す。また、彼が撮影した、ロッセリーニ、ヴィスコンティ、デ・シーカ、ジェルミ、アントニオーニ、スコラ、ベルトリッチ、アレンなどの25作品の一部も挿入。本作は、単に伝説的なひとりの撮影監督の伝記にとどまらぬ、映画黄金時代の核心に迫る感動的な旅なのだ。

## フランチェスコ・ロージ監督

私たちは、真実の瞬間を再現するという映画への愛と情熱を共有していた。

## ベルナルド・ベルトリッチ監督

カルロは、台本を読み取ってそれを表現できる最高の撮影監督だ。

## ニキータ・ミハルコフ監督

モノクロ映画における技術を洗練させたのがジャンニ・ディ・ヴェナンツォなら、カラー映画においてはカルロだ。

## エットーレ・スコラ監督

カルロは物語の魂である雰囲気というものに細心の注意を払った。

## ヴィム・ヴェンダース監督

私が学び私をかたちづかったすべての映画の現場でカルロは生きていた。

## ウッディ・アレン監督

彼は、とても秀でた構構力と色彩感覚の持ち主。何をすべきか本能的に分かっていて、彼がやると、いつだってすばらしく見える。

監督・脚本: ファリボルス・カムカリ

プロデューサー: アドリアナ・キエサ

出演: ケン・ローチ、ヴィム・ヴェンダース、

ベルナルド・ベルトリッチ、ウッディ・アレン他多数

字幕: 岡本太郎

2016年/イタリア/90分/1:17.8

配給: オンリー・ハーツ 宣伝: 山形里香

後援: イタリア大使館、イタリア文化会館

推薦: 日本映画撮影監督協会

11月30日-12月7日 (全12回限定上映)

|                  |                   |                      |
|------------------|-------------------|----------------------|
| 11.30(土)-12.7(土) | 13:00/15:30/19:00 | 全国共通特別鑑賞券 1,200円(税込) |
| 12.1(日)          | 13:00/15:30       | 当日一般1,800円           |
| 12.3(火)-6(金)     | 19:00             |                      |

休映日12.2(月)

問い合わせ:

オンリー・ハーツ TEL.(03)3234-5105

JR 恵比寿駅東口改札より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分

恵比寿ガーデンプレイス内

東京都写真美術館ホール

TEL.03-3280-0099(代表)

www.topmuseum.jp

恵比寿ガーデンプレイス  
至 渋谷 JR恵比寿駅 東口 動く通路  
日比谷線恵比寿駅 1番出口 TOP MUSEUM